

第 30 期
事業報告書

(平成15年4月1日から
平成15年6月30日まで)

株式会社 デジタルブレン

株主の皆さまへ

営業報告書

〔平成15年4月1日から
平成15年6月30日まで〕

1. 営業の概況

1 営業の経過及び成果

当期（平成15年4月1日から平成15年6月30日まで）におけるわが国経済は、イラク戦争やSARS（重症急性呼吸器症候群）による世界経済の不安定感に左右されながらも、企業収益、設備投資面において回復の兆しが見られました。また株式市場におきましては、米国株の上昇や、大手銀行への公的資金注入が好感され、回復基調に転じております。しかしながら、個人消費におきましては、高水準で推移する失業率を背景として、雇用・所得環境は依然厳しく、デフレ経済脱却のシナリオを描けずに、先行き不透明感が残る状況となっております。

当社グループが大きく依存する広告業界におきましても、企業の人件費圧縮や広告・販売促進費削減の傾向は今なお続き、依然として予断を許さない市場環境となっております。

当社は、前期までに実施してまいりましたグループ事業の抜本的な再編、体質の強化、並びに収益性の向上に向けた組織人事をはじめ、大幅なリストラクチャリングの断行、加えて、厳格な予算統制に基づいた事業運営、原価・経費コントロールの徹底が効を奏し、当期につきましては3ヶ月間の変則決算期間（決算期が3月末から6月末に変更となっております。）ではありますが、11期ぶりに営業利益の黒字転換を実現することができました。まさに、今期が当社にとって高収益経営体への変貌を遂げるための転換点である、と位置付けております。

当社の主要事業である就職情報提供事業におきましては、インターネット情報提供サービスサイト「メガジョブ」及び「メガキャリア」の運営、入社案内やダイレクトメールなど採用活動支援ツールの作成、企業セミナーの企画・運営を行っております。

新卒採用市場において、顧客企業からの効率的な新卒採用情報を提供したいというニーズを踏まえた情報サイト「メガジョブ」運営サービス事業と、文化放送プレーン以来、30年近くに及ぶ長きにわたり高品質の評価を得ている入社案内をはじめとした採用活動支援ツールの制作・企画プロデュース事業を新卒採用ビジネスの2本柱と位置付けて展開してまいりました。

また、転職市場においては、転職支援サイト「メガキャリア」運営サービス事業に経営資源を集中させる戦略をとってまいりました。

この結果、当期における就職情報提供事業の売上高は30百万円（前期6億27百万円）となりました。

医療情報提供事業におきましては、創刊28周年を迎えた「ナース専科」ブランドを軸として、看護師に関する採用情報業界におきましてトップの地位を築いており、「月刊ナース専科」及び「ナース専科学生版・大学版」の発行、看護師及び看護学生専用サイト「ナース専科.com（ドットコム）」の運営、医療機関のPRツールの企画・制作といった活動を積極展開してまいりました。加えて、看護学生及び医療現場において活躍する看護師のスキルアップをサポートする書籍の発行、販売を行ってまいりました。また、4月には、わが国初の看護師・看護学生向け携帯専用サイト「ナース専科モバイル」をオープンさせ、ユーザーの利便性向上により、より身近な総合支援情報サービスを提供しております。

この結果、当期における医療情報提供事業は、当期発行いたしました「ナース専科学生版・大学版」の広告売上の受注件数が過去最高を記録し大きく寄与したことにより、売上高は3億53百万円（前期3億31百万円）となりました。

これらの結果、当社の売上高は3億84百万円（前期16億81百万円）、営業利益は38百万円（前期営業損失10億22百万円）となり黒字転換を果たすことができました。しかしながら、依然として社債利息をはじめとする支払利息等67百万円が負担となり、経常損失11百万円（前期経常損失12億59百万円）となりました。また、当期純損失は15百万円（前期当期純損失38億67百万円）となりました。

2 営業の部門別状況

部門別の状況は、次のとおりであります。

事業部門	売上高 百万円	前期比増減 %
就職情報提供事業	30	
医療情報提供事業	353	
その他	0	
計	384	

(注) 平成15年6月期は、決算期変更のため、対前期比増減率は表示しておりません。

3 会社が対処すべき課題

会社が対処すべき課題として、次年度につきましても、法的整理中の連結子会社2社（特別清算手続中の創造生活株式会社、並びに民事再生手続中の株式会社東京プロデュース）の手続きを早急に完結してまいります。当社におきましても、引き続き厳格なる予算統制に基づく収益力の強化に加え、新たな事業の柱を構築するべく、営業部を事業開発部へ組織改編いたします。さらに、子会社であります株式会社アビリティエージェントを8月に吸収合併することにより、看護師の人材紹介事業を当社に取り込み、「ナース専科」ブランドを活用しながら、既存事業とのさらなる相乗効果を高めてまいります。

また、新たにホメオスタイル株式会社を、株式交換により完全子会社とし、連結グループ全体での事業の拡大並びに収益力の強化に努めていくことにより、営業キャッシュ・フローを確保し、もって連結債務超過を解消していく予定であります。

加えて、本年10月、新たにソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンド2号等を割当先とする20億円の転換社債型新株予約権付社債の発行を予定しており、かつ同日に、1年以内償還予定の転換社債を全額償還の予定であります。

今後も、就職情報提供事業及び医療情報提供事業を当社のコア・コンピタンスと位置付け、収益を確保できる体制の構築を継続的に推し進めるとともに、事業の拡充を図ってまいります。また、新たな事業の早期収益化の推進、並びにグループ全体としてのトータルコストの抑制に努め、全社一丸となって収益体質の確立を早急に推し進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

4 設備投資の状況

当期は、金額的に重要性のある設備投資を行っておりません。

5 資金調達の状況

当期は、増資、社債発行及び借入による資金調達は行っておりません。

6 営業成績及び財産の状況の推移

区 分	第 27 期 (平成13年 3月期)	第 28 期 (平成14年 3月期)	第 29 期 (平成15年 3月期)	第 30 期 (平成15年 6月期) 当 期
売 上 高(千円)	2,758,276	3,097,910	1,681,079	384,197
経 常 損 失(千円)	559,587	497,495	1,259,813	11,019
当期純損失(千円)	554,716	6,708,253	3,867,046	15,433
1株当たり当期純損失(円)	32.23	270.00	98.79	0.23
総 資 産(千円)	12,250,165	13,015,791	6,976,916	6,756,006

- (注) 1. 1株当たり当期純損失は、期中平均発行済み株式総数に基づき算出しております。
2. 第28期(平成14年3月期)は、平成13年8月1日付をもって旧株式会社ディジットとの合併を行っております。
3. 第30期は、決算期を3月から6月に変更しており、3ヶ月間の決算期間になっております。

第27期は、新卒向け採用メディア「メガジョブ」を強化し、中途採用メディア「メガキャリア」を立ち上げましたが、売上高は前期比25.2%減となり、売上総利益率も大幅に低下したうえに販売費及び一般管理費が増加したため、営業損失は14億83百万円に拡大いたしました。営業外収支、特別収支は前期比改善しており、経常損失は5億59百万円、当期純損失は5億54百万円でありました。

第28期は、平成13年8月1日付で旧株式会社ディジットと旧ブレードドットコム株式会社が合併し、株式会社ディジットブレンとして新たに生まれ変わり、当社単体の合理化及びグループ各社の統合・再編を推し進めてまいりました。売上高は前期比12.3%増加し、経常利益においても前期比改善したものの、パソコン販売、コミュニティサイト運営等のネットワーク事業からの撤退損11億15百万円、関係会社その他への貸付金に対する貸倒引当金繰入額27億94百万円、子会社株式を含む投資有価証券評価損18億65百万円を計上した結果、売上高は30億97百万円、当期純損失は67億8百万円となりました。

第29期は、グループ事業の再編、財務体質の強化、並びに収益向上に向けて組織人事をはじめ、大幅なりストラクチャリングを急速に進めてまいりました。不採算事業でありました連結子会社3社(創造生活株式

会社、株式会社東京プロデュース、株式会社アイタウン)の法的整理手続きを実施し、抜本的な事業再編を断行してまいりました。加えて、当社本体におきましても、大規模なリストラクチャリングを敢行し、高効率の経営体への変貌を遂げるべく経営努力を行ってまいりました。これらの結果、売上高は16億81百万円、経常損失は12億59百万円となりました。また、子会社の整理等にもとまない貸倒引当金繰入額13億38百万円、投資有価証券評価損4億15百万円、子会社整理損1億50百万円、子会社株式評価損29百万円を計上し、加えて資産の圧縮にもとまない固定資産除却損5億39百万円、投資有価証券売却損1億22百万円を計上したことにより、当期純損失は38億67百万円となりました。

第30期の状況につきましては、前記「1 営業の経過及び成果」に記載のとおりであります。

- 7 決算後に生じた会社の概況に関する重要な事実
1. ストックオプションとして新株予約権の発行

平成15年7月8日開催の当社取締役会において、商法第280条ノ20及び商法第280条ノ21の規定に基づき、ストックオプションとして新株予約権の発行について以下のとおり決議いたしました。

新株予約権の発行日 平成15年7月8日
 新株予約権の発行数 4,500個（新株予約権1個につき1,000株）
 新株予約権の目的たる株式の種類及び数
 普通株式4,500,000株
 新株予約権の行使に際しての払込価格
 1株当たり 65円
 新株予約権割当対象者
 当社役員及び従業員合計63名
 2. 子会社である株式会社アビリティエージェントとの合併

当社は、株式会社ディジットブレンの子会社である株式会社アビリティエージェントを平成15年8月1日付にて、吸収合併いたしました。

合併契約の概要は次のとおりであります。

 - 1 合併の方法

当社が存続会社となり、株式会社アビリティエージェントが解散会社となりました。
 - 2 合併に際して発行する株式及び割当

当社は、合併に際して普通株式18,971,411株を発行し、平成15年7月31日の最終の株式会社アビリティエージェントの株主名簿に記載された各株主に対し、株式会社アビリティエージェントの株式1株につき、当社普通株式0.673株の割合をもって割当交付いたしました。ただし、当社が保有していた株式会社アビリティエージェント株式4,060万株及び株式会社アビリティエージェント保有の自己株式142,000株につきましては、割当を行っておりません。
 - 3 合併期日

平成15年8月1日
 - 4 財産の引継

当社は、平成15年8月1日に株式会社アビリティエージェントの資産、負債及び権利義務の一切を引継ぎました。

なお、株式会社アビリティエージェントの平成15年7月31日現在の資産、負債及び資本の金額は次のとおりであります。

資産合計	2,083百万円
負債合計	71百万円
資本合計	2,011百万円

3. ホメオスタイル株式会社との株式交換

平成15年8月8日開催の当社取締役会において、当社とホメオスタイル株式会社は、事業の拡大強化を図ることを目的として、ホメオスタイル株式会社が当社の完全子会社となる株式交換契約書を締結する決議を行い、同日、株式交換契約書を締結いたしました。なお、ホメオスタイル株式会社におきましても同日開催の取締役会において同株式交換契約書締結の承認を受けております。

1 株式交換契約の概要

株式交換の内容

当社は、ホメオスタイル株式会社と商法第352条ないし第363条に定める方法により株式交換を行います。

株式交換期日

平成15年9月30日

株式交換比率

会社名	株式会社ディジットブレン	ホメオスタイル株式会社
交換比率	1	360

株式交換に際して発行する株式

34,243,200株

増加すべき資本金及び資本準備金の額

ア. 資 本 金：増加いたしません。

イ. 資本準備金：株式交換の日にホメオスタイル株式会社に現存する純資産額に、ホメオスタイル株式会社の発行済株式総数に対する株式交換により当社に移転する株式数の割合を乗じた額となります。

株式交換承認総会

平成15年8月28日ホメオスタイル株式会社

平成15年9月26日株式会社ディジットブレン

2 ホメオスタイル株式会社の概要

・事業内容

家庭用美容機器、化粧品、婦人服、美容健康食品等の販売・サービス業

・平成15年6月30日財務状況（百万円）

総 資 産 2,224

自 己 資 本 1,640

・平成15年6月期実績（百万円）

売 上 高 1,078

営 業 利 益 73

経 常 利 益 85

当 期 純 利 益 36

・従業員数 248名

ホメオスタイル株式会社は、平成15年4月14日開催の臨時株主総会において、決算期を3月末から6

月末に変更決議をしたことにより、平成15年6月期実績は、平成15年4月1日から平成15年6月30日までの3ヶ月決算となっております。

4. 第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行
平成15年8月28日開催の当社取締役会において、第三者割当による第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行について第30回定時株主総会の議案として付議することを決定いたしました。

1 社債発行の主旨

当社は、1年以内償還予定（償還期限：平成16年2月18日）の転換社債を有しており、当該社債を早期に償還するための資金調達手段といたしまして、この度、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債を発行するため第30回定時株主総会の議案に付議いたします。

2 社債の概要

社債の名称

株式会社ディジットブレン第2回無担保転換社債型新株予約権付社債（以下、「本新株予約権付社債」といい、そのうち社債部分を「本社債」といい、新株予約権部分を「本新株予約権」という。）

発行総額 金20億円
各社債の金額 金5,000万円の1種

社債券の形式

無記名式に限り、利札は付さない。

利率 年1.2%

発行価額

本新株予約権付社債の発行価額は額面100円につき金100円とし、本社債に付される本新株予約権は無償にて発行する。

償還金額 額面100円につき金100円

償還期限 平成17年5月31日

申込期日 平成15年10月14日

払込期日 平成15年10月15日

なお、本株主総会に付議する議案第2回無担保転換社債型新株予約権付社債発行の件につきましては、招集ご通知の「議決権行使についての参考書類」（32頁から37頁まで）に記載のとおりです。

2. 会社の概況（平成15年6月30日現在）

1 主要な事業内容

事業部門	品目	主要製品等の細目
就職情報提供事業	中途採用広告標準品	『メガキャリア』
	新卒採用広告標準品	『メガジョブ・スチューデント』
	新卒採用広告個別品	入社案内、ダイレクトメール、ホームページ等
	その他	セミナー等
医療情報提供事業	ナース採用広告事業	『月刊ナース専科』『ナース専科学生版』『ナース専科大学版』病院案内等
その他	その他	広告宣伝ほか

2 事業所

本店	東京都新宿区若葉1丁目4番地
支社	関西支社（大阪市北区）
	名古屋支社（名古屋市中区）

3 株式の状況

会社が発行する株式の総数 154,890,000株

(注) 平成15年8月1日をもって3億4,360万株に変更となりました。

発行済株式の総数 66,930,036株

(注) 平成15年8月1日付、株式会社アビリティエージェントとの合併に伴い18,971,411株を発行いたしました。

株主数 2,515名（前期末比78名増）

大株主

株 主 名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
ソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンド2号	39,495,000	59.44		
ソフトバンク・ファイナンス株式会社 代表取締役 北尾 吉孝	5,732,000	8.63		
ソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンド3号	2,711,000	4.08		
嬉野 勝 美	2,059,004	3.10		
イー・エステート株式会社 代表取締役 細 敬正	1,480,062	2.23		
佐 藤 茂	1,173,000	1.77		
株式会社賃貸住宅ニュース社 代表取締役 佐藤 茂	1,000,000	1.51		
株式会社文化放送 代表取締役 佐藤 重喜	637,000	0.96		
有限会社ワイ・ピー・シー 代表取締役 谷古宇 孝	475,000	0.71		
株式会社新生銀行 取締役社長 八城 政基	450,000	0.68		

自己株式の取得、処分等及び保有

取得株式

単元未満株式の買取による取得

普通株式 2,398株

取得価額の総額 108千円

決算期における保有株式

普通株式 136,596株

4 従業員の状況

区 分	従業員数 (前期末比増減)	平均年齢	平均勤続年数
男 性	33名(14名減)	34歳6ヵ月	5年6ヵ月
女 性	15名(14名減)	30歳8ヵ月	4年0ヵ月
合計または平均	48名(28名減)	33歳4ヵ月	5年0ヵ月

(注) 1. 上記は正規従業員の状況であります。

2. 上記従業員以外に子会社及び関連会社へ出向している社員が3名おります。

5 企業結合の状況

重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	議決権比率	主要な事業内容
株式会社アビリティエ-ジェント	2,084,300千円	59.02%	人材紹介事業
株式会社東京プロデュース	50,000千円	88.35%	結婚式場斡旋事業

その他の重要な企業結合の状況

会 社 名	資 本 金	議決権比率	主要な事業内容
創造生活株式会社	717,000千円	36.73%	結婚情報誌出版事業
株式会社ユニークデジタル	186,000千円	33.87%	デジタルエンターテインメント事業

(注) 創造生活株式会社、株式会社ユニークデジタルの2社につきましては、実質支配基準により連結子会社としております。

企業結合の経過

前期、持分法適用会社でありました株式会社リビングファーストは、保有株式の一部を売却したことにより、当期より、持分法の適用から除外しております。

重要な企業結合の成果

重要な子会社2社を含む連結対象子会社は4社であり、連結損益計算書の要旨は以下のとおりです。

	当連結会計期間
売 上 高(百万円)	494
営 業 利 益(百万円)	48
経 常 利 益(百万円)	10
当 期 純 利 益(百万円)	29

6 主要な借入先

借 入 先	借 入 額	借入先が有する当社の株式	
		株 式 数	持株比率
株式会社アビリティエ-ジェント	百万円 1,882	千株	%

7 取締役及び監査役

会社における地位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役会長	高 松 豊	株式会社オーエムエムジー 代表取締役社長 ソフトバンク・インベストメント 株式会社執行役員 窪川パートナー会計事務所 所長 ソフトバンク・インベストメント 株式会社ファンド投資本部 投資2 部 ゼネラルマネジャー
代表取締役社長	林 弘 明	
代表取締役副社長	沖 本 普 紀	
取 締 役	大 内 邦 春	
取 締 役	原 田 健 司	
常 勤 監 査 役	大 槻 国 夫	
監 査 役	窪 川 秀 一	
監 査 役	佐 藤 憲 治	

- (注) 1. 取締役大内邦春氏、原田健司氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役大槻国夫氏、窪川秀一氏、佐藤憲治氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

8 取締役及び監査役に支払った報酬

取締役	3名	7,877千円
監査役	2名	2,100千円

貸借対照表

[平成15年6月30日現在]

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	744,597	流 動 負 債	2,286,799
現 金 ・ 預 金	441,701	買 掛 金	66,365
受 取 手 形	2,310	一年以内返済のリース債務	20,561
売 掛 金	201,821	一年以内償還予定の社債	2,000,000
製 品	23,946	未 払 金	126,352
仕 掛	9,847	未 払 法 人 税 等	1,755
前 払 費 用	11,982	未 払 消 費 税 等	6,694
未 収 収 益	38	未 払 費 用	40,655
短 期 貸 付 金	4,000	前 受 金	14,613
未 収 入 金	45,777	預 り 金	3,001
立 替 金	10,931	返 品 調 整 引 当 金	6,100
貸 倒 引 当 金	7,760	そ の 他	700
固 定 資 産	6,011,409	固 定 負 債	3,498,179
有 形 固 定 資 産	3,514,089	長 期 借 入 金	1,882,500
建 物	900,346	リ ー ス 債 務	12,362
構 築 物	7,811	預 り 保 証 金	40,557
工 具 器 具 備 品	35,931	長 期 未 払 金	1,558,932
土 地	2,570,000	繰 延 税 金 負 債	3,826
無 形 固 定 資 産	171,128	負 債 合 計	5,784,978
ソ フ ト ウ ェ ア	146,006	資 本 の 部	
ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定	10,791	資 本 金	6,843,960
そ の 他	14,329	利 益 剰 余 金	5,849,343
投 資 其 他 の 資 産	2,326,191	当 期 未 処 理 損 失	5,849,343
投 資 有 価 証 券	197,770	株 式 等 評 価 差 額 金	5,273
子 会 社 株 式	2,030,000	自 己 株 式	28,862
破 産 更 生 債 権 等	4,121,736	資 本 合 計	971,028
長 期 差 入 保 証 金	87,008	負 債 ・ 資 本 合 計	6,756,006
貸 倒 引 当 金	4,110,324		
資 産 合 計	6,756,006		

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示してあります。

2. 子会社に対する金銭債権

短期金銭債権 21,794千円
長期金銭債権 2,021,169千円

3. 子会社に対する金銭債務

短期金銭債務 25,085千円
長期金銭債務 1,882,500千円

4. 有形固定資産の減価償却累計額 101,488千円

5. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、電子計算機及びその周辺機器をリース契約により使用しております。本社の土地、建物についてはセールスアンドリースバック取引であり優先取引交渉権を保有しているため、当該不動産の譲渡取引を金融取引として、会計処理しております。

6. 資本の欠損：商法施行規則第92条に規定する差額 5,878,205千円

7. 商法施行規則第124条第3号に規定する時価を付したことにより増加した貸借対照表上の純資産額は5,273千円であります。

損益計算書

〔平成15年4月1日から
平成15年6月30日まで〕

(単位 千円)

科		目	金 額
経 常 損 益 の 部	営 業	営 業 収 益	384,197
	損	売 上 高	384,197
	益	営 業 費 用	345,849
	の	売 上 原 価	206,307
	部	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	139,542
		営 業 利 益	38,348
		営 業 外 収 益	21,085
		受 取 利 息 及 び 配 当 金	463
		雑 収 入	20,621
		営 業 外 費 用	70,453
	支 払 利 息	67,924	
	雑 損 失	2,529	
	経 常 損 失	11,019	
特 別 損 益 の 部		特 別 利 益	1,070
		貸 倒 引 当 金 戻 入 益	1,070
		特 別 損 失	3,728
		そ の 他 の 特 別 損 失	3,728
	税 引 前 当 期 純 損 失	13,678	
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,755	
	当 期 純 損 失	15,433	
	前 期 繰 越 損 失	5,833,909	
	当 期 未 処 理 損 失	5,849,343	

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示してあります。

2. 子会社との取引高

売 上 高 300千円

営業取引以外の取引高 18,452千円

3. 1株当たりの当期純損失 23銭

注記事項

継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

当社は、前々期3億38百万円、前期10億22百万円の営業損失を計上しており、また、1年以内償還予定の転換社債20億円を有しております。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当期は、3月から6月に決算期が変更となったため、3ヶ月間の変則決算期間となりましたが、前期迄に敢行してまいりました大規模なリストラクチャリングの効果、厳格な予算統制に基づいた事業運営、並びに原価・経費コントロールの徹底により、単体の営業利益38百万円を計上し、黒字転換を実現することができました。

次年度につきましても、引き続き厳格なる予算統制に基づく収益力の強化に加え、新たな事業の柱を構築するべく、営業部を事業開発部へ組織改編し、さらに子会社であります株式会社アビリティエージェントを8月に吸収合併することにより、看護師の人材紹介事業を当社に取り込み、既存事業との一層の相乗効果を高めて行くことにより、営業利益を確保してまいります。加えて、本年10月、新たにソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンド2号等を割当先とする20億円の転換社債型新株予約権付社債の発行を予定しており、かつ同日に、1年以内償還予定の転換社債を全額償還の予定であります。その実行が継続企業の前提となっております。

計算書類及び附属明細書は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を計算書類及び附属明細書には反映しておりません。

重要な会計方針

- 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券	償却原価法（定額法）
子会社株式等	移動平均法に基づく原価法
その他有価証券	
時価のあるもの	事業年度末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部資本直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定）
時価のないもの	移動平均法による原価法
- たな卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法	
-----------	--
- 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	取得原価の10%を残存価額として以下の方法によっております。
建物	耐用年数50年による定額法によっております。
その他	以下の耐用年数による定率法によっております。
建物附属設備	10年から15年
構築物	15年から20年
工具器具備品	4年から20年
無形固定資産	以下の耐用年数による定額法によっております。
ソフトウェア（自社利用）	5年
その他	20年
- 引当金の計上基準

貸倒引当金	一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
返品調整引当金	返品による損失に備えるため、出版取次店への売上高（当期末以前2ヶ月間の総売上高）に対し、返品実績率を乗じた額を計上しております。
- リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- 消費税等の会計処理方法

税抜方式

損失処理

(単位 円)	
科 目	金 額
当 期 未 処 理 損 失	5,849,343,010
これを次のとおり処理いたしました。	
次 期 繰 越 損 失	5,849,343,010

DigitBrain

株式会社 デイジットブレイン